

News Release

Lonza が独自の多目的セルラインエンジニアリング
技術「GS piggyBac™」を上市

- piggyBac™トランスポゾンテクノロジーと Lonza の GS Xceed® 発現系を組み合わせることで、ステイブル CHO プールで高収率の組換え蛋白質発現を実現
- GS piggyBac™システムの、バイオプロセッシングにおける利点は、特に発現率の低いタンパク質に対して良好なプールの取得を容易に
- 本システムは宿主細胞のゲノムに多くの DNA を導入できる為、タンパク質構成の多様性を増す発現に最適

2019年3月27日、バーゼル(スイス)ー Lonza は、本日、市場をリードする GS Xceed®発現プラットフォームの次世代製品として、高効率遺伝子組込みテクノロジーである **GS piggyBac™**の発売を発表しました。GS piggyBac™は、大きな DNA カーゴを高発現した遺伝子と組み合わせることにより、ゲノムの転写活性があり、遺伝的に安定な領域に挿入することができます。GS piggyBac™は、高収率と高性能であることから、発現率の低いタンパク質の発現率改善に適しています。

革新へのコミットメント

Lonza の GS Xceed®発現系は、35年以上にわたる哺乳類発現、工程開発、技術および製造のノウハウに基づいて構築されています。このたゆまない開発努力が、次世代の遺伝子組換え治療用タンパク質生産のための、市場をリードし信頼性が高くスケールアップ可能な発現プラットフォームの実現を確かなものにしていきます。このシステムには、Lonza 独自の CHOK1SV GS-KO®細胞株、ベクター、最適化された細胞培養培地、フィード、および広範な専門知識が含まれます。

バイオプロセッシング分野において実証済みの piggyBac™トランスポゾン技術の知的財産権を、全世界で独占的に取得することは、我々の発現プラットフォームの継続的な技術進歩を強くコミットするものです。GS PiggyBac™の上市により、Lonza はお客様に、GS Xceed®の発現プラットフォーム、および Lonza の治験薬の受託製造開発を強化する、クラス最高の技術を提供致します。

市場ニーズへの対応

「バイオ医薬品のパイプラインは、より複雑な蛋白質フォーマットとなっており、これらのチャレンジングなバイオ医薬を製造するため、信頼性が高く、発現率の高い製法に対する需要が高まっています」と、Lonza の Global Head of Licensing の Sarah Holland は述べています。「これまで以上に、これら需要を満たすことができ、信頼性が高いスケールアップ可能な発現プラットフォームが求められています。GS piggyBac™は、お客様がこれらの課題に取り組むためのサポートに適しています。」

Lonza ファーマ&バイオテック部門のHead of R&DであるKeith Hutchisonは、「PiggyBac™技術の導入と、その後のGS PiggyBac™の上市は、私たちの研究開発チームの重要な焦点となっていました。この新技術は、お客様に対して、哺乳類発現、およびバイオ医薬品製造のための改良 技術プラットフォームの利用を提案します。」と付け加えています。

GS System®ライセンスを保有頂いている新規、および既存のお客様へ、Lonza は GS piggyBac™のご利用を提案させていただきます。GS piggyBac™のライセンスに関するお問い合わせは、[こちら](#)までお願いいたします。さらに詳細情報は、以下のウェブサイトをご参照ください。www.pharma.lonza.com/gspiggybac

主要な予定:

2019年4月3-4日: BioProcess International, Europe | Cell Line Engineering and Development、ウィーン(オーストリア) Messe Wien Exhibition Congress Center にて

2019年4月10-11日: PEGS2019、マサチューセッツ州ボストン(米国) Seaport World Trade Center にて

2019年4月24-25日: 12th Annual Proteins & Antibodies Congress、ロンドン(英国) Novotel West にて

Lonza について

Lonza は、一連のヘルスケアプロセス (Healthcare Continuum™) に沿って価値を創出する総合ソリューション・プロバイダーです。Lonza ファーマ・バイオテック&ニュートリション部門と Lonza 特殊成分部門を通じて、科学や技術を駆使して、こうした一連のヘルスケアプロセスに沿って市場におけるニーズに対応しています。当社は健全な環境の創造と健康なライフスタイルの促進、消費者の予防的なヘルスケアの推進を通じた疾病の予防を重視するとともに、当社のお客様が重い疾患を治療さらには治癒するのに役立つ画期的な医薬品を提供することで、患者さんのヘルスケアの向上を支援しています。

ヘルスケア、衛生関連および移り変わりの速い消費財環境、そして私たちが住んでいる世界での予防や保護に自社のノウハウを転換することができるため、患者さんと消費者に貢献することができます。

Lonza は 1897 年にスイスアルプスで設立されました。2018 年末現在で世界に 100 を超える製造施設やオフィスを持ち、約 15,500 人の社員を擁する世界に誇るグローバル企業に成長しました。2018 年の売上高は 5.5 億スイスフラン、CORE EBITDA は 1.5 億スイスフランでした。詳細は、www.lonza.com をご覧ください。

本件に関するお問合せ

Dirk Oehlers, Head Investor Relations
Lonza Group Ltd
Tel +41 61 316 8540
dirk.oehlers@lonza.com

Constance Ward, Head External Communications
Lonza Group Ltd
Tel +41 61 316 8840
constance.ward@lonza.com

Sanna Fowler, Head Public Relations
Lonza Pharma & Biotech & Nutrition
Lonza Pharma & Biotech
Tel +41 61 316 8929
sanna.fowler@lonza.com

追加情報および免責事項

Lonza グループは、スイスのバーゼルに本社を置き、スイス証券取引所に上場しています。また、シンガポール証券取引所 (「SGX-ST」) に二部上場しています。Lonza グループは SGX-ST の継続上場条件の対象ではありませんが、引き続き SGX-ST 上場マニュアルの規則 217 および 751 の対象となります。

本ニュース・リリースの記載事項は、将来の予測に関する記述を含む場合があります。これらの記述は、Lonza グループの現在の予測と推定に基づいており、これらの予測と推定の達成を

Lonza グループが保証するものではありません。投資家の皆さまは、すべての将来の予測に関する記述がリスクと不確かさを含んでおり、全体として制限されていることにご注意ください。本ニュース・リリースに含まれる将来の予測に関する記述は、さまざまな要因により、実際の結果と大きく異なる場合があります。また、Lonza グループは、法律により要求される場合を除き、本ニュース・リリースに含まれる記述を更新する意図を有するものではなく、また、義務を負うものではありません。

本ニュース・リリースは、Lonza Ltd. が、2019 年 3 月 27 日 (スイス現地時間) に発表したニュース・リリースを日本語に翻訳再編集したものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

英文ニュース・リリース

Lonza Launches GS piggyBac™ - A Unique and Versatile Cell Line Engineering Technology